

1月31日夜遅く、NHKスペシャルは「無縁社会」を放送し、多くの人たちが釘付けになったと聞いております。

今日本は凡そ5千万世帯、高齢者と言われる65歳以上は720万世帯です。

5年前に比べて2倍という急増ぶりです。

また133万世帯が生活保護を受けております。

医療費も65歳以下は一人当たり年平均16万円ですが、65歳以上の方の医療費は一人当たり65万円と国家予算の3分の1を超える33兆円であります。

親も兄弟も親戚も、職場の仲間たちとも地域社会からも無縁となって、一人さびしく人生を終える人たちは毎年凡そ3万2千人であります。

更に孤独に耐えかねてか？自殺者は3万5千人と伝えられますが、自殺未遂の方は50万人もおられます。また自殺と思われるが証拠が無いので事故死と判定される方が1万5千人おります。

経済成長、豊かな生活を求め国民のすべては中産階級としての暮らしを手に入れたはずなのになぜ？とこのような無惨な無縁社会を作ってしまったのかと思わず嘆息の思いであります。

私達地方経済界が求められている事は・・・私達の役割は何なのかであります。

①高齢者を元気で元々職場へと残れる仕組みが必要であり、世代交代とは若返りの事だけでなく、今までよりも定年を延長することです。産業経済界が働く能力、必要性を認めて生きがいを与え孤立させないことです。

②孤立社会の一因に生涯未婚者が推定ですが女性は4人に一人、男性は3人に一人です。多くの若者たちは勉強に追われ、競争社会の中で異性と接する経験も少なく、どう接したらよいのか分からず自信がないからと言われる。

昔は町内に面倒見の良い人たちがいた様に、これからは女性会、青年部が農協、新日鐵、市役所等と協力して婚活仲人作戦を強力に進めて町内にぎやかにさせる役目と考えぜひ実行に移していただきたい。

③かつて商店街は情報交換、人間関係にかかせない集合空間でありましたが、大型店、コンビニ、車そして携帯電話の普及によって会話を必要としない人間社会を作ってしまった。特にメール、インターネットによる器具を通しての会話は人と人の会話力、親近感、感動をなくして会話能力が無いからすぐにキレル、暴力、殺傷等によってしか解決の表現ができない・・・情緒、感性のない荒廃した社会となったのであります。

声をかけ、新しいつながりを町内に広げてやって下さい。

「人は会うこと多ければ良き友となり、会うこと少なければ他人となる！」との教えがあります。

どうかつながりを求めている若者や高齢者の良き話相手、相談相手になってあげて頂きたい。商いの仕事も忙しいでしょうが趣味、遊びの仲間、グループをもっと周囲にたくさん作ってあげて下さい。

よき遊び仲間が最後は良き親友として支えてくれるものです。その会を楽しく、長続きさせるコツは「(一) 大いに笑う事、(二) 少しおしゃれである事 (三) 頑張りすぎないこと (四) 仲間に便りを書き、電話をすること (五) 月一度は小さな旅をすること (六) お互いに肩をもみ合う良き友を持つ事・・・」だそうです。

一日の仕事が終わったらたまには家族、親子で近所の仲間たちと一杯飲む、日本人には欠かせない団らんの場所を大切にして下さい。我が家は親子三代、兄弟、仲間達とよく飲み、よく食べ歩いていきます・・・